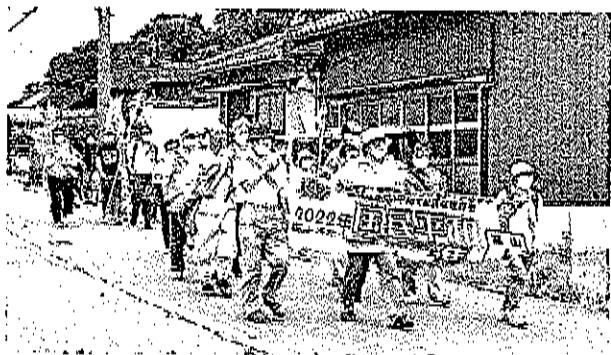


国民平和大行進 石川から県内へ

核兵器廃絶などを訴える「原水爆禁止国民平和大行進」の富山・広島コースの行進が二十四日、石川県から福井県に引き継がれた。あわら市吉崎二の吉崎寺



駐車場で引き継ぎ式があつた。一行は石川県のメンバーから「核兵器のない平和で公正な世界を」と書かれた横断幕を受け取り出発。この日は約二十人が、あわら温泉街や坂井市のえちぜん鉄道三国駅周辺を行進した。

県実行委員会代表委員の山川知一郎さんは「行進を盛り上げて『核兵器なくせ』の声を広げ、日本が核兵器禁止条約に参加するよう頑張っていきたい」と話した。

今後、県内の各自治体を巡り、七月一日に京都府へ引き継ぐ。八月四日に広島市の平和記念公園に到着する。行進は一九五八（昭和三十三）年に始まり今年で六十五回目。全都道府県を十一コースで回る。

核兵器の廃絶を訴えながら歩く
参加者たち=あわら市吉崎二

（照明日香）